

お薬は医師や薬剤師と相談しながら  
「自分で選べる」時代になりました!

# ジェネリック医薬品

# Q&A

—— 監修 ——

一般社団法人 京都府薬剤師会 常務理事

国家公務員共済組合連合会 舞鶴共済病院 前薬剤部長

薬学博士 楠本正明

## ジェネリック医薬品（後発医薬品）とは

ジェネリック医薬品（後発医薬品）とは、これまで有効性や安全性が実証されてきた新薬と同等と認められた低価格なお薬です。

➡ 詳しくは、P.4へ

※医薬品には、商品名の他に有効成分名を示す一般名（generic name）があります。一般名は、世界保健機関 WHO に登録されている世界共通の名称です。欧米では後発医薬品の処方一般名で行われることが多いため、日本でもジェネリック医薬品（generic name drug）と呼ぶようになりました。

患者様ご自身でジェネリック医薬品を選ぶことができる

# Q. ジェネリック医薬品を

## 1 医師に相談する

「先生、そのお薬をジェネリック医薬品に  
してもらうことはできますか?」  
と相談してみましょう。



## 2 薬局で薬剤師に相談する

薬局で薬剤師に「ジェネリック医薬品にしたいのですが・・・」  
と相談してみましょう。

処方せん	
<small>(この処方せんは、この医療機関でしか有効です。)</small>	
処方せん番号	保険番号
出薬薬局の名称 の所在地(都道府県)	出薬薬局の名称 〒 〇〇〇〇〇〇
氏名	住所(都道府県、市町村、町、丁目、番地)
性別	電話番号
生年月日	保険証番号
区分	保険種別
受診科	受診年月日
受診年月日	処方せんの日
変更不可	変更年月日
処方	処方内容
保険医署名	保険医印
調剤年月日	調剤年月日
調剤薬局の名称	調剤薬局の名称
調剤薬局の名称	調剤薬局の名称

処方せんの「変更不可」欄に「√」または「×」印がない場合は、**薬剤師の判断で、新薬と同じ有効成分のジェネリック医薬品に変更してもらうことができます。**

(「√」または「×」印は、個々のお薬ごとに医師が判断します)

変更不可
------

「変更不可」欄に「√」または「×」印があり、かつ保険医署名欄に署名または記名・押印が入っている場合は、変更できません。

備考	保険医署名 (「変更不可」欄に「√」又は「×」を記載した場合は、署名又は記名・押印すること。)
----	---

場合があります。

# 調剤してもらうには？

処方せんに記載されている新薬と、剤形や含量が違うジェネリック医薬品に変更できる場合もあります。



## 〈剤形や含量の変更とは〉

例えば…

- 錠剤 5mg 2錠 → 10mg 1錠 (含量の変更)
- カプセル剤 → 錠剤 (剤形の変更)
- 錠剤 → 口腔内崩壊錠(OD錠) (剤形の変更)

剤形と含量を同時に変更できる場合もあります。

- カプセル剤 5mg 2カプセル → 錠剤 10mg 1錠

塗り薬や貼り薬など、飲み薬以外のお薬は、種類を変更できません。

- ゲル剤 → テープ剤 ×
- 軟膏 → クリーム剤 ×

詳しくは薬剤師に相談してみましょう。

処方せんのお薬の名前は、一般名（成分名）で記載される場合があります。その場合も、ジェネリック医薬品を選択することができます。

- 保険薬局がジェネリック医薬品を取り扱っていない場合は、すぐには手に入らないことがあります。

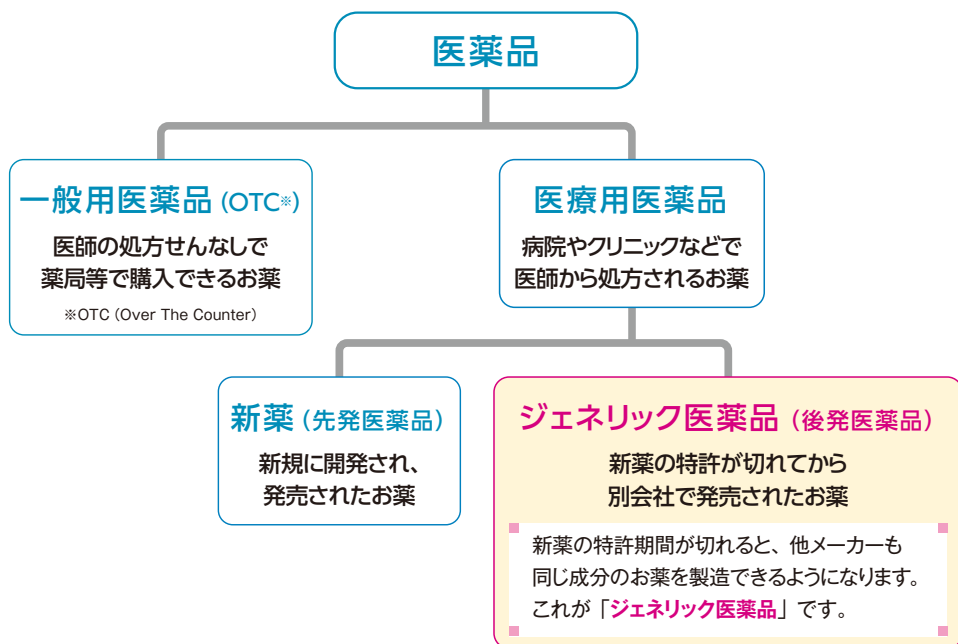
ジェネリック医薬品を服用していて気になったことは、医師や薬剤師に相談しましょう。

お薬は患者様ご自身でも選べる時代になりました。

ご自身のためのお薬だからこそ、納得のいくお薬選びを。

※すべてのお薬にジェネリック医薬品があるわけではありません。

# お薬は、このように分類されています。



## ● 新薬とジェネリック医薬品の同じところ、工夫できるところ

### 同じところ

**有効成分** 成分/含量\*

**治療効果** 有効性・安全性/効能・効果\*/用法・用量\*/使用上の注意\* \*一部、異なる場合があります。

### 工夫できるところ

**製剤** 添加物(種類および量)/性状(色や味、臭い、形、大きさなど)/剤形

例) 内服薬……………錠剤やカプセルなどのお薬の種類  
飲みやすさ、味  
外用薬(貼り薬など)…貼り心地

# Q. ジェネリック医薬品の特徴は？

1

## 低薬価 (低価格)

ジェネリック医薬品は、  
研究開発や審査等の各種手続きなどにかかる  
開発コストを抑えられるため、  
国が価格を新薬の約2~7割※に設定しています。  
※同じ成分のジェネリック医薬品で薬価が異なる場合もあります。



新薬の場合、開発期間は10~30年、費用は数十億円~数百億円かかるといわれています。ジェネリック医薬品は、新薬で既に有効性・安全性が確認された有効成分を使用しているため、開発期間も短く、費用も安く済むのです。

### 低価格でも、有効性は新薬と同じです。

新薬と同じ有効成分で、体内への吸収を調べる試験により、有効性・安全性が同じであることを保証しています。

### 複数のお薬を服用している方や、長期服用が必要な方ほど、自己負担が軽くなります。

例えば、糖尿病や高血圧症、高脂血症、骨粗鬆症など、長期間お薬を飲み続ける疾患の場合は、低価格であるジェネリック医薬品を選ぶと、新薬を選んだ場合に比べ自己負担が軽くなります。

注) 窓口でお支払いいただく負担金は、お薬の費用のほか、調剤料等が加わります。

2

## 改良製剤 (リニューアル医薬品)

ジェネリック医薬品には、  
形や味、大きさ、服用性、使用感の改良など、  
新薬の発売後、  
開発・蓄積された新しい技術を用いて工夫を施し、  
リニューアルされているものもあります。

例えばこんな工夫が…

### 付加価値型 ジェネリック医薬品

錠剤や粉薬で飲みこみにくい、 入れ歯に挟まってしまう…	➡	水を含むと「ふわっ」と溶ける錠剤
味が苦い…	➡	苦味をマスキング
カプセル剤でのどを通りにくい…	➡	飲みやすい錠剤
小さすぎて扱いにくい または大きすぎてのどを通りにくい…	➡	扱いやすく飲みやすい、適度な大きさのお薬
● 剥離紙（フィルム）が うまく剥がれない… ● 自分では貼りにくい…	➡	剥離紙（フィルム）が剥がしやすく、 また貼りにくい部分にもひとりで貼りやすい貼付剤

### 形や味、大きさなどが変わっても、 有効性や安全性は、新薬と同じです。

ジェネリック医薬品では、添加物が新薬とは異なる場合がありますが、品質についても厳しい審査が行われており、有効性・安全性が同等であることが証明されています。なお、有効成分の安定性を高めるために、あえて異なる添加物を使用することもあります。

### お薬の包装には、製品名や含量などが 分かりやすく表示されているものもあります。

例えば、多くのエルメッド エーザイ製品の包装（PTPシート）には、製品名・含量を見やすく表示し、含量ごとに色を変えるなど、患者様の服用に配慮したデザインに仕上げられています。




**Q**

**なぜジェネリック医薬品の普及が推進されているの？  
ジェネリック医薬品を選ぶメリットは？**

**A**

超高齢社会を迎え、増え続ける医療費が国家財政を圧迫しています。医療の質を落とさずに医療費を削減する1つの方法として、ジェネリック医薬品の使用が推進されています。ジェネリック医薬品が普及すると、医療保険財政の改善(医療費の抑制)や健康保険料負担増の抑制はもちろん、患者様の自己負担の軽減にもつながります。

**Q**

**有効性や安全性は大丈夫？**

**A**

ジェネリック医薬品は、どれだけの速さで、どれくらいの量の薬の成分が血液中に入っていくかを調べる生物学的同等性試験において、新薬と同等であることが確認されています。有効性や安全性、品質について国の審査で認められているお薬です。



おくすり  
手帳

### **お薬手帳をご使用ください。**

お薬手帳は、これまで飲んでいたお薬の情報が、医師や薬剤師にひと目で伝わるようにできています。患者さんが別の医療機関または複数の医療機関を受診される際には、より効率的な治療が受けられます。特に災害時など、避難先の医療環境が限られた場合にも、お薬手帳があると、よりスムーズな受診が可能になるでしょう。また、お薬の重複や、飲み合わせによる副作用の防止などにもたいへん役立ちます。お薬手帳を1冊にまとめ、いつも携帯するか、いつも同じ場所に保管しておきましょう。

エルメッド エーザイは、エーザイグループの一員として、患者様が服用しやすいように工夫した付加価値型製剤のジェネリック医薬品を開発・製造販売しています。

医療機関名

